

## 学則変更の趣旨等を記載した書類

### 1. 学則変更（収容定員変更）の内容

フェリス学院大学国際交流学部（国際交流学科）について、新たに整備した「プログラム制」の効果的な運用をはかるため次のとおり入学定員及び編入学定員の変更を計画した。

#### 収容定員（入学定員・編入学定員）変更計画

国際交流学部（国際交流学科）

現行（※）			計画			現行と計画の差			
入学定員	編入学定員		入学定員	編入学定員		入学定員	編入学定員		収容定員
194	2年次	4	197	2年次	4	+3	2年次	±0	±0
	3年次	6		3年次	0		3年次	△6	
	800			800					

※平成 28（2016）年度入学定員及び 3 年次編入学定員変更。収容定員は、変更後の完成年度＜平成 31（2019）年度＞予定を表す。

変更時期：平成 28（2016）年 4 月 1 日（第 1 年次及び第 3 年次）

### 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

平成 26（2014）年度入学者から体系的、段階的な履修を目的としてプログラム制（国際協力・文化交流・人間環境）を導入し、2 年次から選択した学修プログラムを 3 年間で完成させるカリキュラムとして整備した。このプログラム制運営の整合性を図るため、在学期間が 3 年に満たない 3 年次編入学定員を減じ 1 年次入学定員に振り替えることとした。

### 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

教育課程、教育方法、履修指導方法、教員組織、施設設備については、これまでその整備と充実に努めてきたところであるが、今回の学則変更は、収容定員の増加を伴わず、かつこれらの基礎的な条件を満たした上で、質的・量的な内容が十分に担保される範囲内での計画である。したがって、国際交流学部の教育については、学則変更後も支障のない運営を行うことができる。

### (1) 教育課程、教育方法及び履修指導方法

特に教育課程、教育方法及び履修指導方法については、本学を取り巻く環境の変化や社会の要請等を考慮し、学生の体系的、段階的な学修を目的に平成 26 (2014) 年度から「プログラム制」を導入した。1 年次は基幹科目群を中心に各専門分野の基礎を学び、2 年次からは学生自らの特性や志向にあわせて各プログラムを選択し体系化した知識を身につけ、将来の進路に活かすことを目標としている。

教育方法においては、各プログラムおよび専門分野の紹介、基礎的事項を学ぶために、本学部の全専任教員が各回の授業を担当するオムニバス形式の授業方法を新たに取り入れている。

また履修指導においては、GPA 制度、アカデミック・アドバイザー制度により、学生の学修成果に基づくきめ細かな履修指導を実施している。このことに加え、プログラム選択にあたり、学生はオフィス・アワーを利用してプログラム専任教員（プログラム・コンダクター）にプログラム選択の相談、助言を受ける制度とした。

### (2) 教員組織

教員組織は、国際交流学部並びに大学全体として、収容定員に応じた必要な専任教員組織が既に担保されている。

### (3) 施設・設備

施設については、基本計画書の「校地等」「校舎」にあるとおり、変更後の教育に支障のない面積が担保されている。

今回の収容定員変更計画は、教育課程、教育方法、履修指導方法の変更に伴い学修成果を高めるために計画され、今後も設備の整備と充実に努めていく。

以上